

立候補推薦文

一般社団法人神戸青年会議所
第 65 代理事長 宮崎 大輔

小西毅くんとのお出会いは、2015 年に私が国際交流委員会の委員長をしていた時です。当時の小西くんは 31 歳と若く、私が今までに出会ったメンバーの中で最も仕事や JC に対するバイタリティに溢れていました。そこから LOM でさまざまな経験を積む中で確実に成長を遂げ、素晴らしい人間関係を構築してきました。中でも神戸青年会議所が 60 周年を迎えた年の記念事業では、委員長として企業と学生をつなぐ運動を展開し、産官学民との関係性向上に貢献してくれました。時には厳しく、楽しむときは全力で楽しむ大変前向きな性格に、多くのメンバーが影響を受け、メンバーを巻き込んで LOM を盛り上げてくれています。

2022 年は、一般社団法人神戸青年会議所の第 64 代理事長として、「Re New 夢を描き挑戦しよう」をスローガンに活動をしてきました。メンバーの家族、社業のことを第一に考え、アフターコロナ期の神戸のまちに必要な事業構築は非常に難しかったと思います。その中でも特に注力したオータムフェスティバルでは、異文化を混ぜ合わせることで生まれる新しい価値を発掘することを目的とし、見事に非日常の世界観を演出し神戸に新しい祭を生み出しました。新型コロナウイルスという未曾有の危機により、2 年間の活動制限を余儀なくされたメンバー達が溜め込んだエネルギーを最大限発揮することができた素晴らしい一年だったと感じています。このときの運動を通して、多くのメンバーが時代の潮流を感じ青年経済人として求められる運動に積極的に取り組むことができました。コロナ前のあるべき青年会議所の姿を急速に取り戻した 1 年でもあり、コロナ禍に入会したメンバーにとっても刺激的で、今後も語り継がれる事業を LOM に残してくれました。また、第 75 回全国大会神戸大会の実現に向けた旗振りをしてくれた 1 年でもありました。

今年は活動の軸を公益社団法人日本青年会議所に置き、小西くんの掲げた「夢を描き挑戦しよう」は神戸から日本、そして世界へ向けたものになりました。「夢溢れる未来を描き 世界に冠たる日本を取り戻す」の基本理念のもと、組織グループを担当する副会頭として麻生会頭のもと、グループを先導し全国の LOM の利益最大化のために日々邁進しています。副会頭としての様々な経験談は、LOM メンバーに刺激を与え、活動の幅を広げたいと考えるメンバーが増えたことは間違いありません。これは現役メンバーだけでなく、神戸青年会議所シニアクラブ先輩諸姉にも同じことが言えます。小西副会頭だからこそ、心が動くメンバーや高い志をもつことができたメンバーが LOM だけでなく全国にも多くいることと思います。青年会議所の会頭として、私たちの住む「日本」の未来を考えるリーダーとして存分に力を発揮してくれると確信しています。

神戸青年会議所の総意をもって小西毅くんを全力で支援することをお約束し、公益社団法人日本青年会議所 2024 年度会頭候補者として推薦させていただきます。